

東御市防災倉庫新築工事

実施設計図



キビト建築設計

図 面 リ ス ト		縮 尺	図 面 リ ス ト		縮 尺
A－01	図面リスト		E－01	特記仕様書	
A－02	特記仕様書（1）		A－02	配置図	1/200
A－03	特記仕様書（2） 仕上表		A－03	盤結線図	
A－04	鉄筋コンクリート配筋基準図（1）		A－04	照明器具参考姿図	
A－05	鉄筋コンクリート配筋基準図（2）		A－05	電灯設備図	1/100
A－06	鉄筋コンクリート配筋基準図（3）		A－06	コンセント設備図	1/100
A－07	案内図・配置図	1/500 1/12000			
A－08	配置図 2	1/200			
A－09	求積図 建具表	1/5 1/50 1/500			
A－10	平面図	1/100			
A－11	立面図	1/100			
A－12	断面図	1/100			
A－13	地盤算定図 構造図	1/20 1/200 1/50 1/300			
A－14	外構造成図	1/200			
A－15	外構図	1/200			
A－16	外構詳細図	1/10 1/20			

備 考



キ ビ ト 建 築 設 計
一級建築士事務所 知事（上田）E第9Z102号
一級建築士 第290408号 鈴木 敏之
長野県東御市八重原3533-1195 TEL/FAX0268-61-6751

工事名

東御市防災倉庫新築工事

図面名

図面リスト

DATE
/08/2026

縮尺

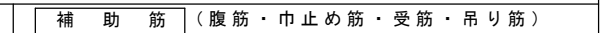
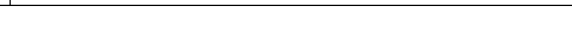
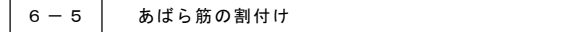
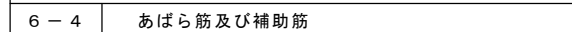
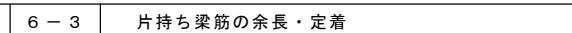
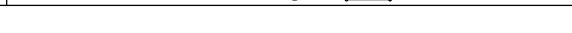
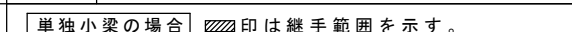
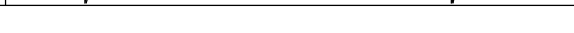
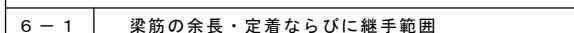
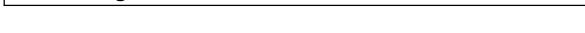
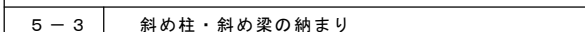
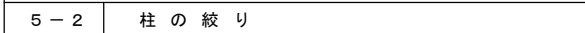
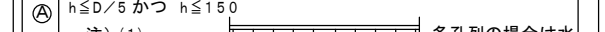
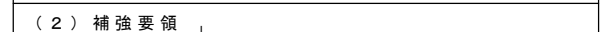
No.

A－01

[illegible]

鉄筋コンクリート配筋基準図（１）												
１．共通事項												
１－１	適用範囲											
本配筋標準は、現場打ち鉄筋コンクリート構造物に使用する鉄筋の加工と配筋の一般基準を示すものである。設計図に特記なき限り本基準によるものとする。												
１－２	鉄筋の表示記号											
異形鉄筋												
記号												
鉄筋のかぶり厚さ												
（単位：mm）												
構造部分の種類												
設計かぶり厚さ												
土に接しない部分												
土に接する部分												
＊設計かぶり厚さ＝最小かぶり厚さ＋10mm												
〔注〕（１）かぶり厚さとは、最外側鉄筋面からの寸法とする。												
（２）高炉セメントC種、シリカセメントC種及びフライアッシュセメントC種を用いる場合は、調合・部材の大きさなどに応じて定め、係員の承認を受けること。												
（３）「仕上げあり」とは、タイル張り、石張り、吹付タイル、合成樹脂系リシン、左官塗り、ペイント塗装等をいい、「仕上げなし」とは、打放し、セメント系リシン、乾式石張り等の場合をいう。防水層を有する屋根スラブについては、仕上げありとしてよい。												
（４）段取り筋や捨て筋のかぶり厚さは最小かぶり厚さとする。												
（５）擁壁についてはコンクリートの品質及び施工法に応じ、係員の承認を受けて40mmとすることができ。												
（６）軽量コンクリートの場合は10mm増しとする。												
（７）土に接する側面は、かぶり厚さの差を外側に打ち増す。												
かぶり厚さ												
（８）屋外に面するスラブや柱・梁天端については、有効な仕上げがあっても、「仕上げなし」を適用する。												
（９）柱、梁の主筋にD29以上を使用する場合は、上記の他、主筋の最小かぶり厚さは、呼び名（d）の1.5倍以上とする。												
（10）屋外に面する部分等で、増し打をして目地をとる場合は、目地深さはかぶり厚さに含まない。												
１－４ パーサポート・スペーサーの種類と配置												
種類												
（１）コンクリート製												
（２）鋼製（かぶり部分は防錆塗装を施すこと）												
（３）プラスチック製												
（４）ステンレス製												
配置												
部位												
種類												
数量または配置												
備考												
部位												
種類												
面積												
数量または配置												
備考												
〔注〕（１）表の数量または配置は5～6階程度までのRC造を対象としている。												
（２）梁・柱・基礎梁・壁・地下外壁のスペーサーはプラスチック製でもよい。												
（３）2段筋部分には、S金物など間隔を確保できるものを使用する。												
（４）モルタル製のスペーサーは使用しないこと。												
（５）原則として、スラブには鋼製のスペーサーを使用すること。それ以外の場合は工事監理者の承諾を得ること。												
鉄筋の間隔・あきの最小値												
単位（mm）												
図												
呼び名（d）												
公称直径（d'）												
最外径（D）												
粗骨材の最大寸法												
粗骨材の最大寸法												
※dは鉄筋径（呼び名）を示す。												
鉄筋の折曲げ最小値												
鉄筋末端部												
折曲げ角度												
図												
鉄筋の種類												
鉄筋の径												
折曲げ内のり直径（R）												
180°												
135°												
90°												
注（1）												
注（2）												
〔注〕（１）折曲げ角度90°は、スラブ筋、壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形ばりに用いるU字形あばら筋と対のキャップタイのみに用いる。												
（２）片持スラブの上端筋の先端、壁の自由端に用いる先端の余長は4d以上でよい。												
鉄筋中間部												
※dは鉄筋径（呼び名）を示す。												
折曲げ角度												
図												
鉄筋の使用箇所による呼称												
鉄筋の種類												
鉄筋の径による区分												
鉄筋の折り曲げ内のり寸法（R）												
90°以下												
柱、梁、壁												
スラブ												
基礎梁												
などの主筋												
1												
鉄筋のフック												
（１）柱及び梁（基礎梁を除く）の出隅部分の重ね継手												
（２）柱頭												
（３）煙突に用いる鉄筋（４）丸鋼（５）杭基礎のベース筋												
（１）帯筋、副帯筋、スパイラル筋												
（２）あばら筋、副あばら筋												
（１）U字形あばら筋のキャップタイ、副あばら筋												
（２）巾止め筋（片側135°）												
鉄筋の定着及び継手												
コンクリートの設計基準強度（N/mm ² ）												
普通コンクリート												
鉄筋の種類												
定着の長さ												
一般（L2）												
下端筋（L3）												
床・屋根スラブ												
重ね継手長さ（L1）												
SD295A												
SD295B												
SD345												
SD390												
※構造計算がルート3以外は、大梁主筋の柱への定着長さは40d以上とする。												
〔注〕（１）末端のフックは定着長に含まない。												
（２）折曲げ起点は梁主筋を柱に定着する場合、原則として柱せいの3/4倍以上、梁から梁へ定着する場合、梁断面の中心線を越えること。												
（３）耐圧スラブ下端筋の定着長さは、一般定着（L2）とする。												
（４）径の異なる鉄筋の重ね継手の長さは細いほうのdによる。												
（５）特記のない限り、D29以上の異形鉄筋には、原則として重ね継手を設けてはならない。												
（６）腹筋の重ね継手長さは、上記にかかわらず150mmとする。												
（７）軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。												
隣り合う継手の位置												
フックのある場合												
又は												
0.5L1以上												
0.5L1±50												
フックのない場合												
又は												
0.5L1以上												
0.5L1±50												
圧接の場合												
400mm以上												
あき重ね継手												
0.2L1かつ150mm以下												
スラブ筋												
壁筋のみ												
1												
ガス圧接要領												
原則として、D19以上の異形鉄筋の継手はガス圧接とする。												
dは径が異なる場合は細い方の鉄筋径とする。												
（１）ふくらみ長さ（L）												
1.1d以上												
（２）ふくらみの径（d0）												
1.4d以上												
（1.4d未満の時は補正圧接）												
（３）偏心量（e）												
d/5以下												
（d/5以上の時は切断、再圧接）												
（４）圧接面のずれ（Δ）												
d/4以下												
（５）すきま（c）												
3mm以下												
（６）径が異なる場合												
径の差が5mmを超える場合は圧接をしてはならない。												
杭												
杭頭の処理（既製コンクリート杭の場合）												
杭径 補強筋 帯筋												
300φ 4-D13												
350φ 6-D13												
400φ 6-D13												
450φ 8-D13												
500φ 8-D13												
600φ 8-D16												
700φ 8-D16												
800φ 10-D16												
（a）所定の位置に止まった場合												
（b）所定より低く止まった場合（100以上）												
〔注〕（１）中埋コンクリートは基礎コンクリートと同一仕様とする。												
基礎												
基礎配筋要領												
直接基礎												
杭基礎												
基礎梁の下より地反力を受けない場合												
スラブなどの土載荷重を受ける場合												
基礎梁の下より地反力を受ける場合（布基礎部分）												
〔注〕（１）ガス圧接の場合、*は500mm以上はなす。												
基礎梁外端部の納り												
あばら筋と同径・同間隔												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎と基礎梁の接合												
あばら筋と同径・同間隔												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁幅で増し打ち												
基礎梁												

5 - 1	柱筋（異形鉄筋）の余長・定着・継手範囲 ならびに帯筋の割付け
-------	-----------------------------------

6-6 梁貫通孔の可能範囲及び配筋要領図

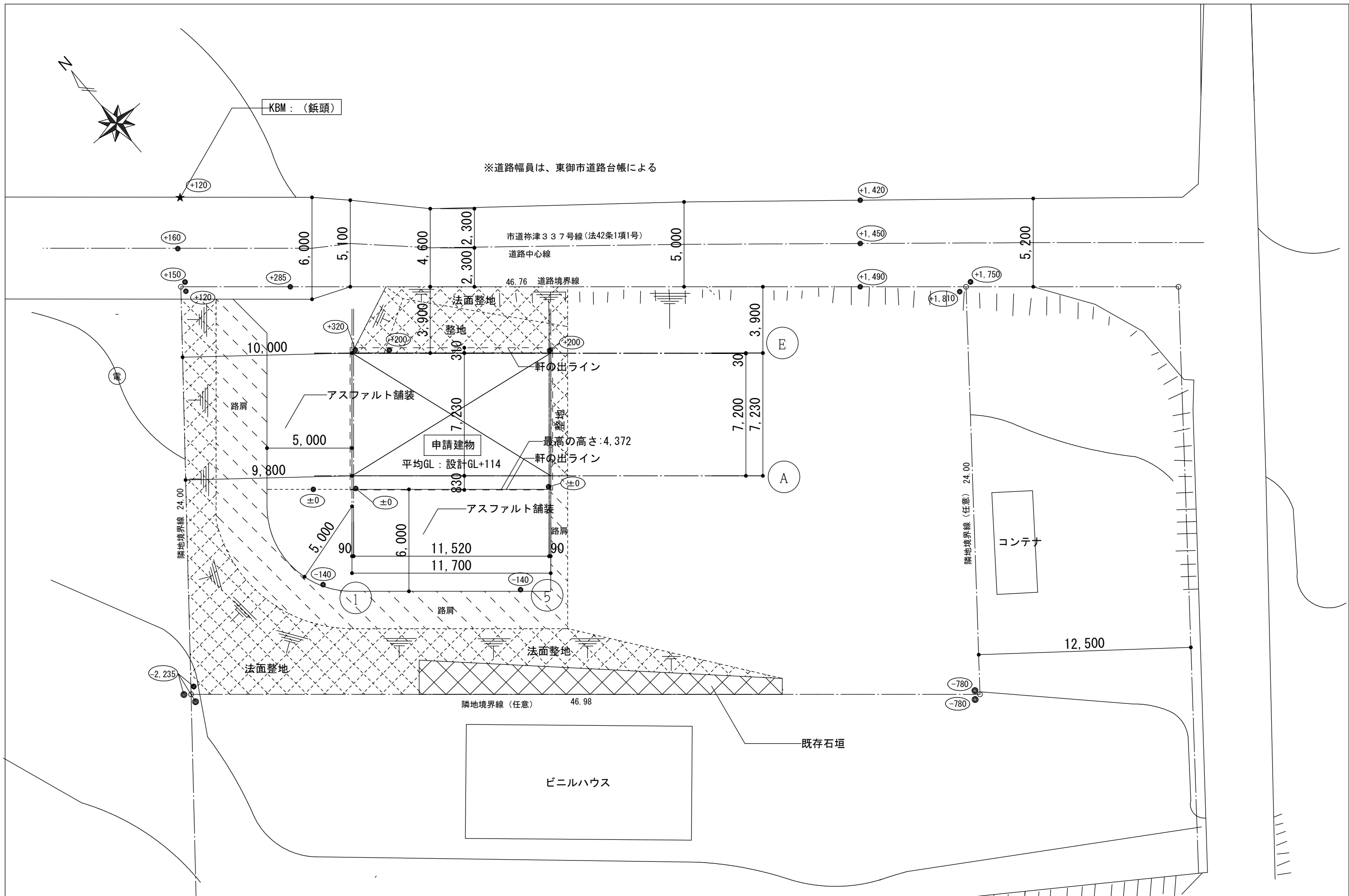
鉄筋コンクリート配筋基準図（３）											
7. 床スラブ		9. その他									
7-1	床スラブ筋の継手位置	7-5	段違いスラブ								
C A C D B D C A C $L_x/4$ $L_y/2$ $L_x/4$ L_x L_y <table><tr><td></td><td>標準継手位置</td></tr><tr><td>短辺方向</td><td>B・D</td></tr><tr><td>長辺方向</td><td>A・B</td></tr><tr><td>両方向共</td><td>A・C・D</td></tr></table> 継手を添溶接にする場合 両面溶接 $L \geq 5d$ 片面溶接 $L \geq 10d$ 注）ベタ基礎のスラブ筋の場合は上記表の上端筋・下端筋を読み替える。			標準継手位置	短辺方向	B・D	長辺方向	A・B	両方向共	A・C・D	段差が t 以内の場合 段差が t を越え $2t$ 以内の場合	
	標準継手位置										
短辺方向	B・D										
長辺方向	A・B										
両方向共	A・C・D										
7-2	床スラブ筋の定着	7-6	隅角部の補強								
第一主筋 注）鉄筋の重ね継手長さは L_1 とする。 $75 \sim 100$ $15d$ $15d$ $L_x/4$ L_x $L_x/4$ 短辺方向断面図 L_2 L_3 200以上 30°以内 片側スラブ付 両側スラブ付 梁主筋にあたる場合 Δ：パーサポート $\odot$：$D13$以上 段違いスラブ 段違いスラブ		屋上階出隅部 屋上階入隅部 片持ちスラブ出隅部 (RCの腰壁・たれ壁のない場合) $D13 \sim P$ $2-D13$ $2-D13 \sim P$ $3-D10 \sim 200$ L_0 L_0' L_0 L_0' 〔注〕（１）補強筋：上端筋の下に配筋 片持ちスラブ入隅部 1.500 1.500									
7-3	片持スラブ筋の定着	8.	壁								
先端に荷重がかからない場合 先端に荷重がかかる場合		8-1	壁筋の定着								
L_1 $75 \sim 100$ L_3 (a) $75 \sim 100$ L_3 (b) $75 \sim 100$ L_1 L_3 (c) Δ：パーサポート $\odot$：$D13$以上		柱 L_2かつ中心線を越える 150程度 L_2a L_2 スラブ L_2 1.000 1.000 $D13$ $D13$ a 区間は通し配筋でもよい ㊦は上端筋がある場合不要 壁と壁の交差部 壁端部									
7-4	開口補強	8-2	地下外壁筋の定着								
300X300 以下の場合 700X700 以下の場合 補強筋 $a \cdot b : 2-D13$ 以上* $c : 2-D10$ (上端筋の下に配筋) *スラブ筋と同径、開口により切断される鉄筋と同本数 開口が連続する場合 $2-D13$ 以上* $2-D10$ *片持ちスラブの開口補強、片持ち方向の補強筋は、片持ちスラブ元端の梁面から定着長さを確保する。		柱主筋の内側の場合 梁主筋の内側の場合 梁主筋の外側の場合 柱主筋の外側の場合 通し筋 受筋 打継ぎ面 約1m 間隔毎に下げる 打継ぎ面 約1m 間隔毎に下げる									
7-5	段違いスラブ	8-3	地下外壁筋の継手範囲								
〔注〕（１）補強筋：上端筋の下に配筋		縦筋 横筋 継手範囲 土に接する側の鉄筋 室内側の鉄筋									
7-6	隅角部の補強	8-4	補強コンクリートブロック（帳壁、へい）								
〔注〕（１）補強筋：上端筋の下に配筋		RCスラブ・壁への定着 主筋の定着 $40d$ $5d$ $10d$ $40d$ 隅角部・交差部の定着 $40d$ $40d$ $1-D13$ $1-D13$ （単位：mm） ブロックの最大支点間距離L ブロック厚 一般 腰壁・袖壁 $100 \times L=2,500$ $120 \times L=3,000$ $L=1,320$ $150 \times L=3,500$ $L=1,600$ ※ GL+10m 以下の場合のみ									
7-7	開口補強	8-5	パラベットの配筋								
300X300 以下の場合 700X700 以下の場合 補強筋 $a \cdot b : 2-D13$ 以上* $c : 2-D10$ (上端筋の下に配筋) *スラブ筋と同径、開口により切断される鉄筋と同本数 開口が連続する場合 $2-D13$ 以上* $2-D10$ *片持ちスラブの開口補強、片持ち方向の補強筋は、片持ちスラブ元端の梁面から定着長さを確保する。		2-D13 $D10 \sim 150$ $D10 \sim 150$ $2-D13$ $2-D10$ $1-D13$ 〔注〕（１）縦筋：$D10 \sim 150$ダブル 横筋：$D10 \sim 150$ダブル （２）特記なき寸法は建築図による。 ※ 丸環用補強筋（丸環の両側に入れる）									
7-8	開口補強	8-6	開口補強								
鉄筋による開口補強 〔注〕（１）壁の補強筋は、壁リストによる。 （２）末端部かぶせ筋は、下記とする。 耐力壁：平行する壁筋と同径、同間隔 非耐力壁：平行する壁筋と同径、2倍間隔 （３）開口部が 150×150 又は 150ϕ 以下の場合、補強不要。 （４）開口部が柱・梁に近い場合の補強筋は下図の通りとする。		かぶせ筋 〔注〕（１）壁の補強筋は、壁リストによる。 （２）末端部かぶせ筋は、下記とする。 耐力壁：平行する壁筋と同径、同間隔 非耐力壁：平行する壁筋と同径、2倍間隔 （３）開口部が 150×150 又は 150ϕ 以下の場合、補強不要。 （４）開口部が柱・梁に近い場合の補強筋は下図の通りとする。									
7-9	開口補強	8-7	外壁ひびわれ防止筋								
鉄筋による開口補強 〔注〕（１）壁の補強筋は、壁リストによる。 （２）末端部かぶせ筋は、下記とする。 耐力壁：平行する壁筋と同径、同間隔 非耐力壁：平行する壁筋と同径、2倍間隔 （３）開口部が 150×150 又は 150ϕ 以下の場合、補強不要。 （４）開口部が柱・梁に近い場合の補強筋は下図の通りとする。		目地のある場合 目地のない場合 開口補強筋 45° 600									

備考

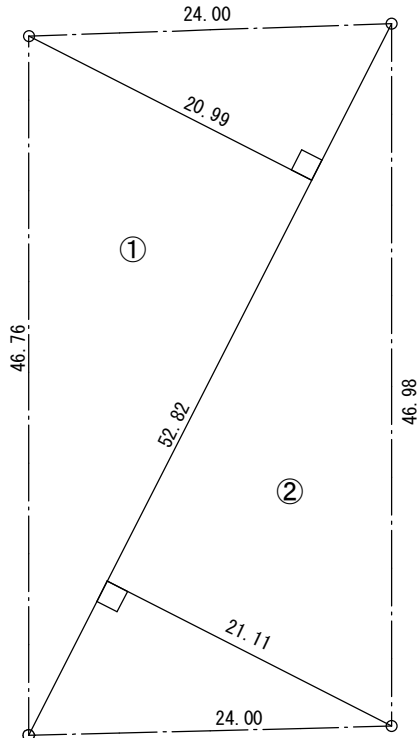
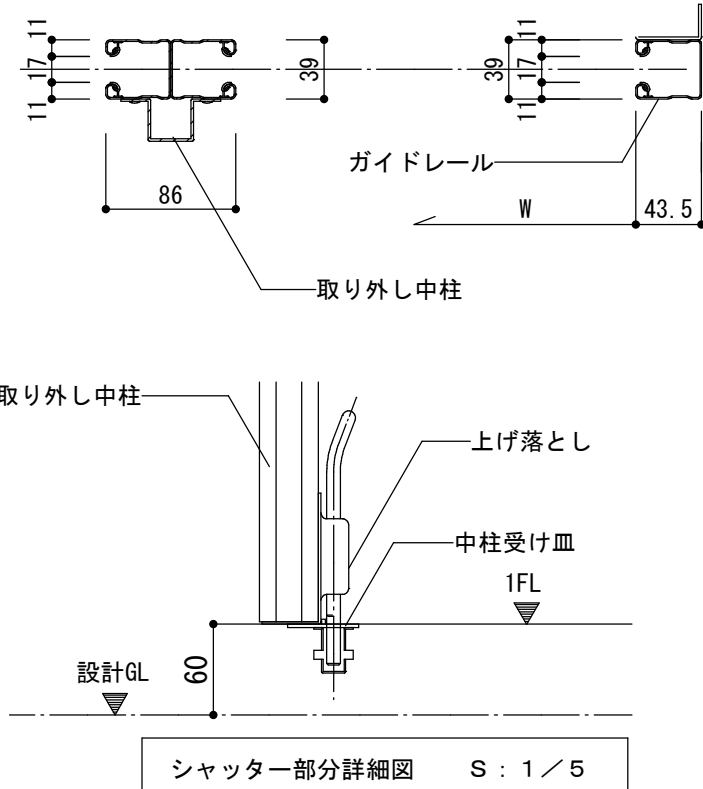
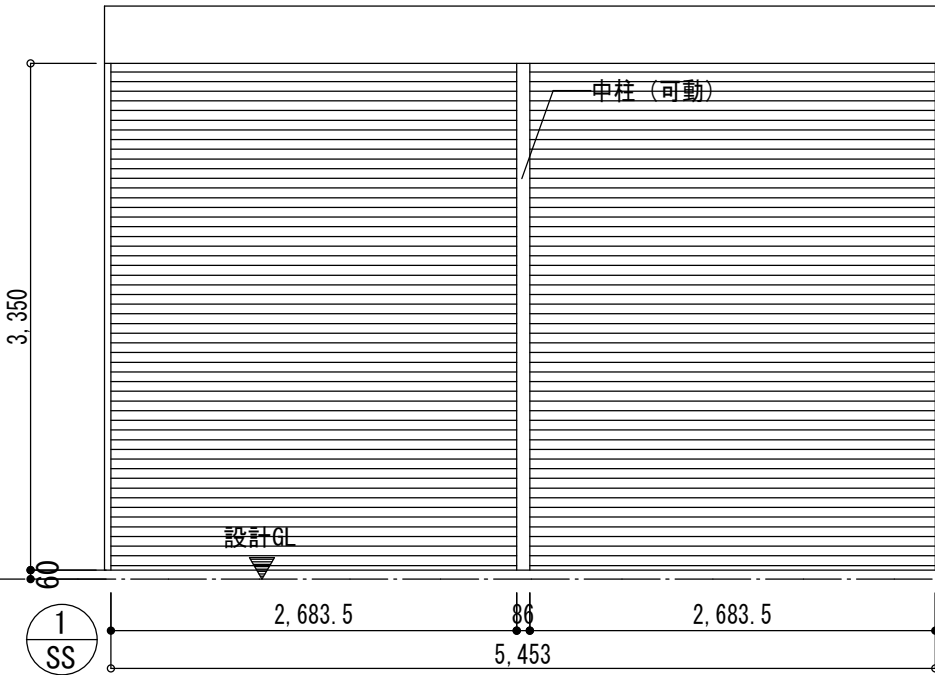
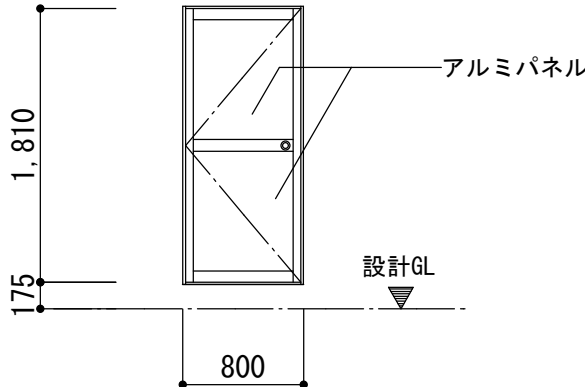
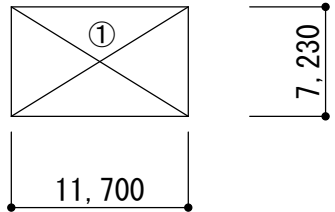


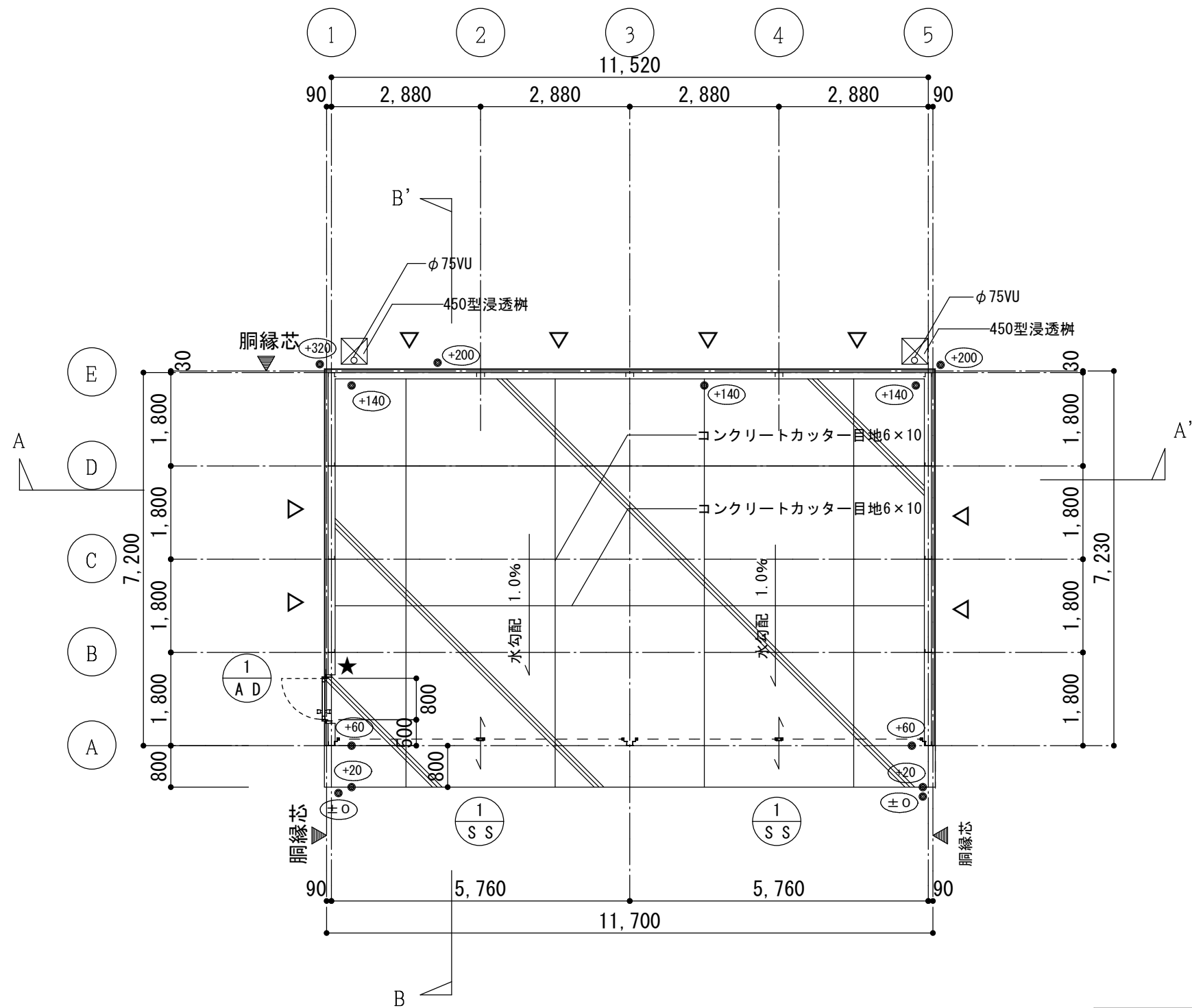
キビト建築設計
 一級建築士事務所 知事（上田）E第9Z102号
 一級建築士 第290408号 鈴木 敏之
 長野県東御市八重原3533-1195 TEL/FAX0268-61-6751

工事名	東御市防災倉庫新築工事		縮尺	No.
図面名	鉄筋コンクリート配筋基準図（３）	DATE /08/2026	A - 06	

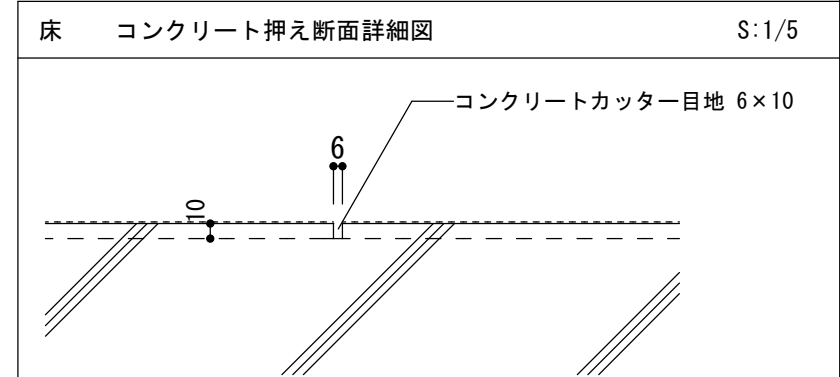


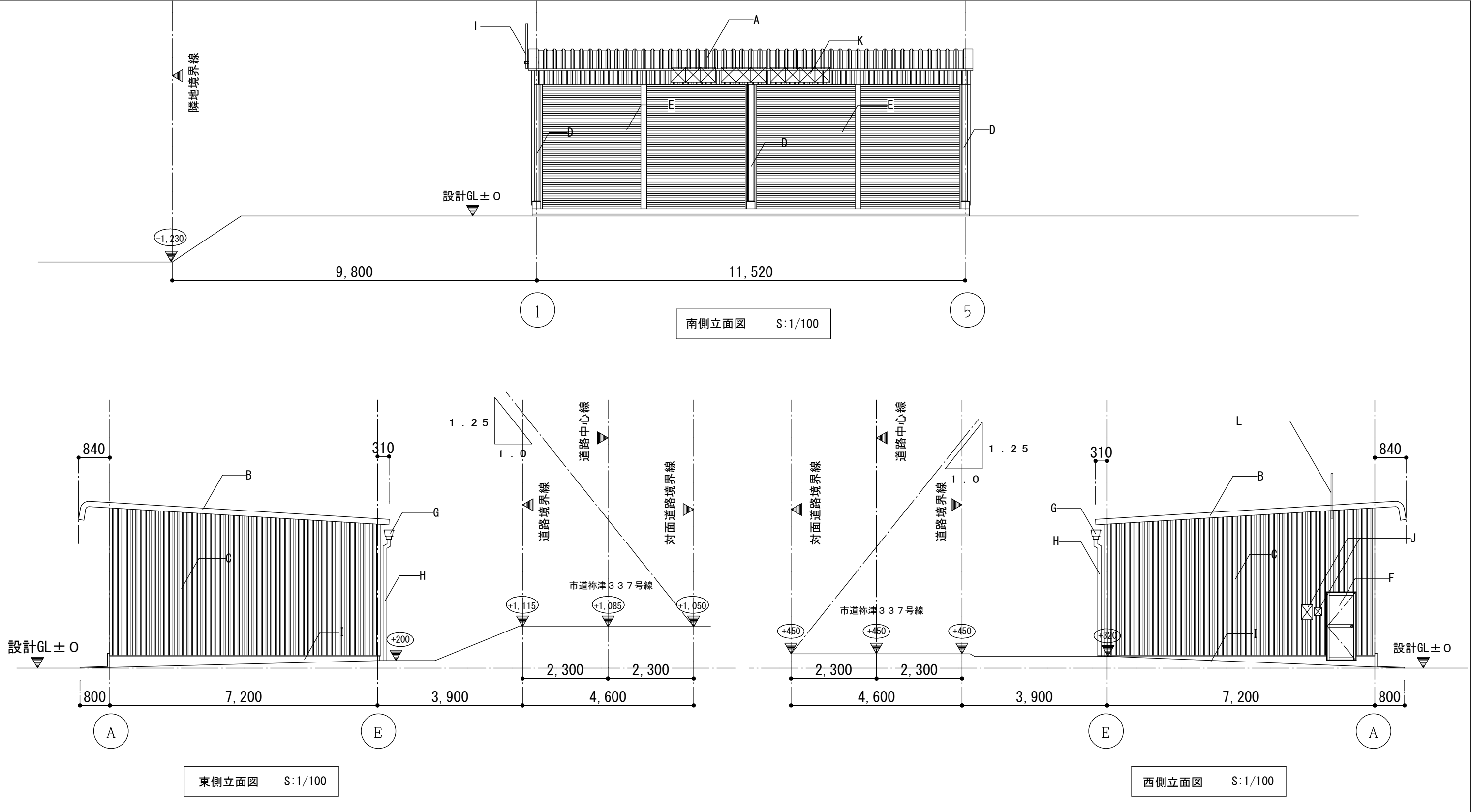
工事名	東御市防災倉庫新築工事		追加資料	縮尺	N o .
図面名	配置図 2	DATE	1:200	A - 0 8	
		/ 08 / 2026			

敷地求積図・求積表		建具表		1/50																																																																																																		
 敷地求積図 S:1/500 <table><tr><th>番 号</th><th>計 算</th><th>合 計 m2</th></tr><tr><td>①</td><td>52.82*20.99*0.5</td><td>554.346</td></tr><tr><td>②</td><td>52.82*21.11*0.5</td><td>557.515</td></tr><tr><td>面 積</td><td></td><td>1,111.861</td></tr><tr><td></td><td></td><td>(1,111.86)</td></tr></table>		番 号	計 算	合 計 m2	①	52.82*20.99*0.5	554.346	②	52.82*21.11*0.5	557.515	面 積		1,111.861			(1,111.86)	 シャッター部分詳細図 S : 1 / 5 																																																																																					
番 号	計 算	合 計 m2																																																																																																				
①	52.82*20.99*0.5	554.346																																																																																																				
②	52.82*21.11*0.5	557.515																																																																																																				
面 積		1,111.861																																																																																																				
		(1,111.86)																																																																																																				
建築面積、延べ床面積 求積図・求積表		 求積図 S:1/500 <table><tr><th>番 号</th><th>計 算</th><th>合 計 m2</th></tr><tr><td>①</td><td>11.70*7.23</td><td>84.59</td></tr><tr><td>建築面積</td><td></td><td>84.59</td></tr><tr><td>延べ床面積</td><td>① - ① / 5</td><td>67.67</td></tr></table> <table><tr><th>建ぺい率</th><th>法定60%</th><th>>7.61% OK</th></tr><tr><td>容積率</td><td>法定200%</td><th>>6.09% OK</th></tr></table> <table><tr><th colspan="3">無窓階判定</th></tr><tr><td>床面積</td><td>1/30</td><td>判 定</td></tr><tr><td>84.59 m2</td><td>2.82 m2</td><td><1/SS 2.683*3.35=8.98m2 OK</td></tr><tr><td colspan="3">※大型の開口部 1/SS:2か所 OK</td></tr></table>		番 号	計 算	合 計 m2	①	11.70*7.23	84.59	建築面積		84.59	延べ床面積	① - ① / 5	67.67	建ぺい率	法定60%	>7.61% OK	容積率	法定200%	>6.09% OK	無窓階判定			床面積	1/30	判 定	84.59 m2	2.82 m2	<1/SS 2.683*3.35=8.98m2 OK	※大型の開口部 1/SS:2か所 OK			<table><tr><th>型式</th><th>位置</th><th>数量</th><th>手動軽量シャッター (2/SS:移動中柱)</th><th>防災倉庫</th><th>2か所</th></tr><tr><td>扉</td><td>枠</td><td></td><td>スラット :スチールt=0.5 見込 : ー</td><td>材質 :スチール 見込 : 39</td><td></td></tr><tr><td>ガラス</td><td>ガラリ</td><td></td><td>種別 : ー 厚さ : ー</td><td></td><td></td></tr><tr><td>錠 (ロック)</td><td>把 手</td><td></td><td>錠類 : ー 把手類 : ー</td><td>材質 : ー 仕上 : ー</td><td></td></tr><tr><td>金 物</td><td></td><td></td><td>くつ摺 : ー 支持金物 : ー</td><td></td><td></td></tr><tr><td>その他. 付属品</td><td></td><td></td><td>付属金物一式</td><td></td><td></td></tr><tr><td>備 考</td><td></td><td></td><td>工場焼付塗装品</td><td></td><td></td></tr></table>		型式	位置	数量	手動軽量シャッター (2/SS:移動中柱)	防災倉庫	2か所	扉	枠		スラット :スチールt=0.5 見込 : ー	材質 :スチール 見込 : 39		ガラス	ガラリ		種別 : ー 厚さ : ー			錠 (ロック)	把 手		錠類 : ー 把手類 : ー	材質 : ー 仕上 : ー		金 物			くつ摺 : ー 支持金物 : ー			その他. 付属品			付属金物一式			備 考			工場焼付塗装品			<table><tr><th>アルミ框ドア</th><th>防災倉庫</th><th>1か所</th></tr><tr><td>仕上 : サテン色 見込 : 30</td><td>材質 : アルミ 見込 : 70</td><td></td></tr><tr><td>厚2.0 アルミパネル</td><td></td><td></td></tr><tr><td>錠類 : モノロック</td><td>把手類 : 握り玉 材質 : ステンレス 仕上 : HL</td><td></td></tr><tr><td>くつ摺 : アルミ 支持金物 : ステンレス丁番</td><td></td><td></td></tr><tr><td>付属金物一式</td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">YKKAP 2HD-79618-HK同等品</td></tr></table>				アルミ框ドア	防災倉庫	1か所	仕上 : サテン色 見込 : 30	材質 : アルミ 見込 : 70		厚2.0 アルミパネル			錠類 : モノロック	把手類 : 握り玉 材質 : ステンレス 仕上 : HL		くつ摺 : アルミ 支持金物 : ステンレス丁番			付属金物一式			YKKAP 2HD-79618-HK同等品		
番 号	計 算	合 計 m2																																																																																																				
①	11.70*7.23	84.59																																																																																																				
建築面積		84.59																																																																																																				
延べ床面積	① - ① / 5	67.67																																																																																																				
建ぺい率	法定60%	>7.61% OK																																																																																																				
容積率	法定200%	>6.09% OK																																																																																																				
無窓階判定																																																																																																						
床面積	1/30	判 定																																																																																																				
84.59 m2	2.82 m2	<1/SS 2.683*3.35=8.98m2 OK																																																																																																				
※大型の開口部 1/SS:2か所 OK																																																																																																						
型式	位置	数量	手動軽量シャッター (2/SS:移動中柱)	防災倉庫	2か所																																																																																																	
扉	枠		スラット :スチールt=0.5 見込 : ー	材質 :スチール 見込 : 39																																																																																																		
ガラス	ガラリ		種別 : ー 厚さ : ー																																																																																																			
錠 (ロック)	把 手		錠類 : ー 把手類 : ー	材質 : ー 仕上 : ー																																																																																																		
金 物			くつ摺 : ー 支持金物 : ー																																																																																																			
その他. 付属品			付属金物一式																																																																																																			
備 考			工場焼付塗装品																																																																																																			
アルミ框ドア	防災倉庫	1か所																																																																																																				
仕上 : サテン色 見込 : 30	材質 : アルミ 見込 : 70																																																																																																					
厚2.0 アルミパネル																																																																																																						
錠類 : モノロック	把手類 : 握り玉 材質 : ステンレス 仕上 : HL																																																																																																					
くつ摺 : アルミ 支持金物 : ステンレス丁番																																																																																																						
付属金物一式																																																																																																						
YKKAP 2HD-79618-HK同等品																																																																																																						
備 考		 キ ビ ト 建 築 設 計 一級建築士事務所 知事 (上田) E第9 Z 1 0 2号 一級建築士 第290408号 鈴木 敏之 長野県東御市八重原3533-1195 TEL / FAX0268-61-6751		工事名	東御市防災倉庫新築工事		縮尺	No.																																																																																														
				図面名	求積図 建具表	DATE /08/2026	1:5 1:50 1:500	A - 0 9																																																																																														

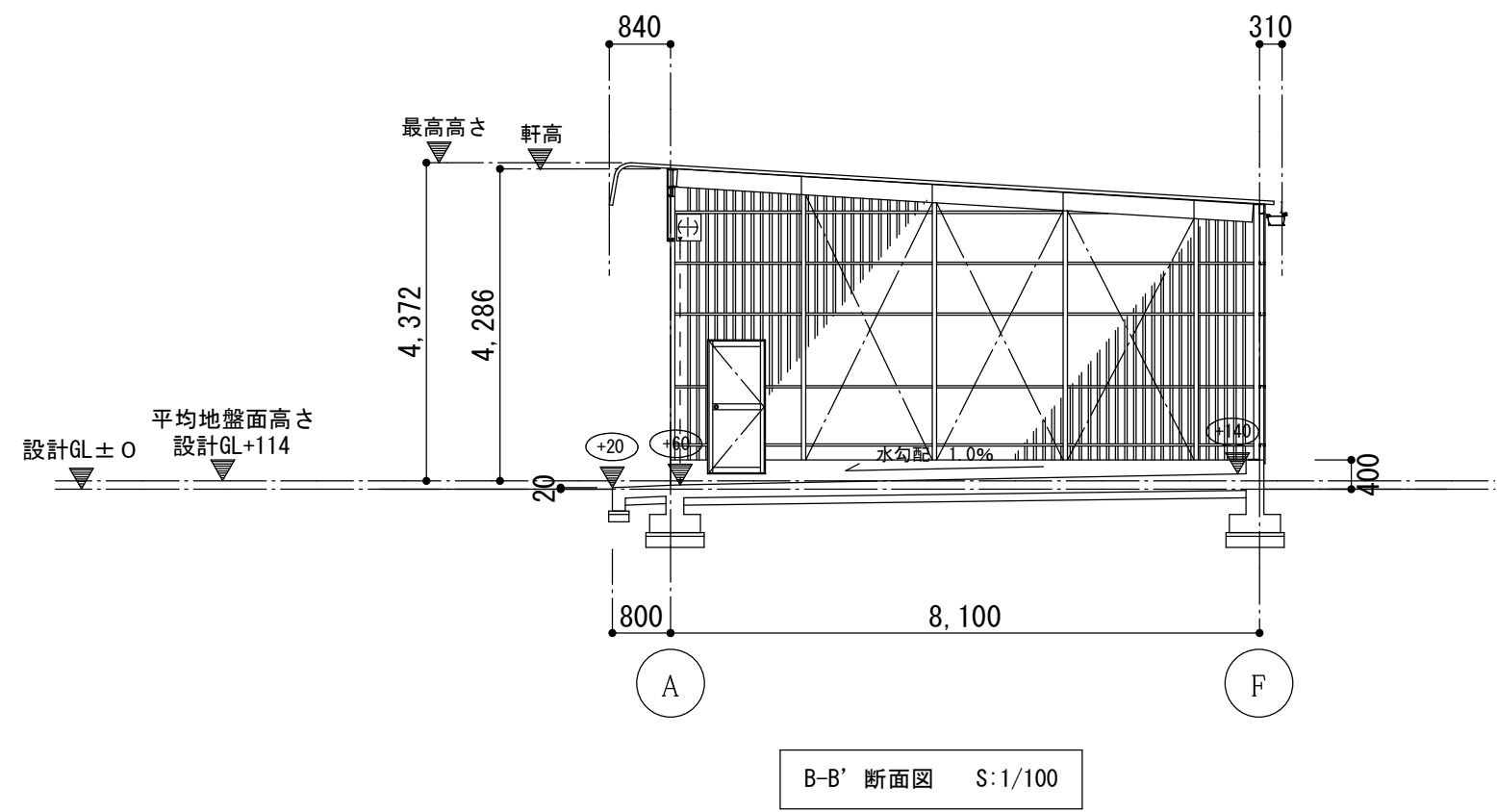
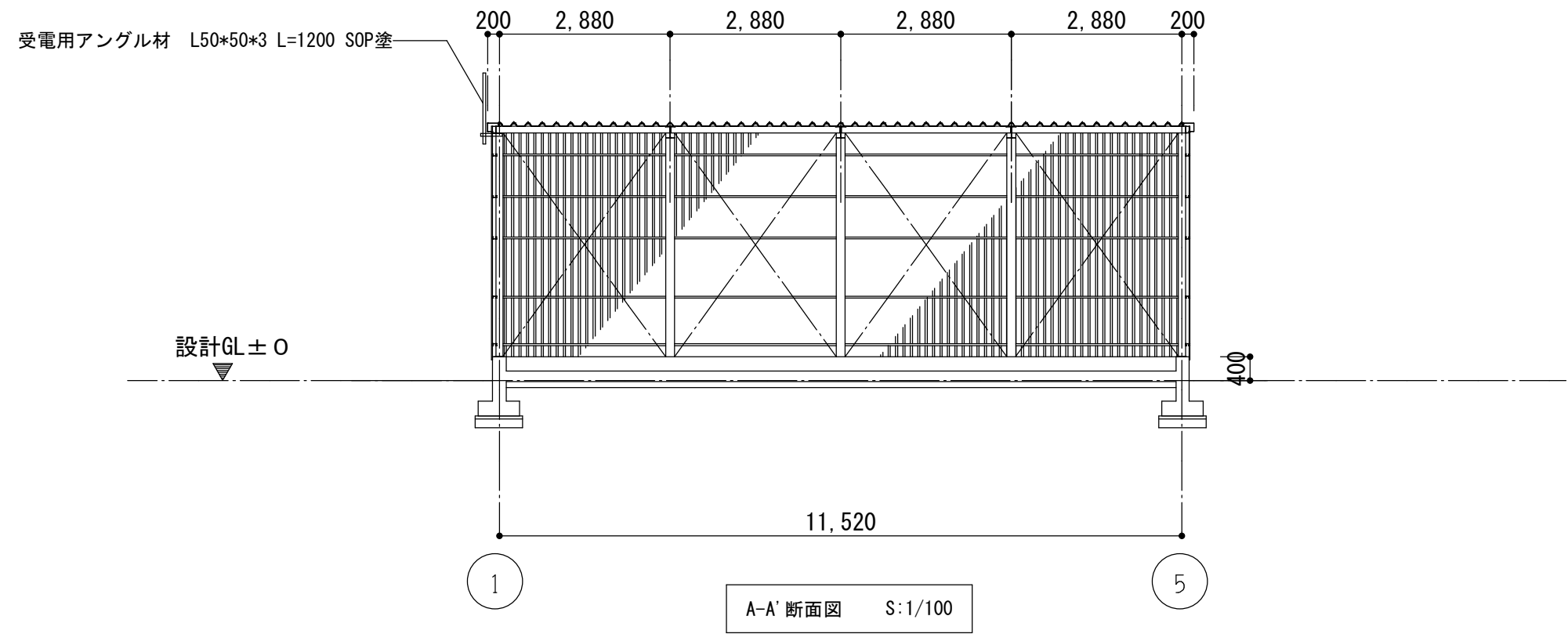


- 凡 例
- ★ 粉末消火器：10型（設置スタンド共）
 - ▽ ブレース位置を示す

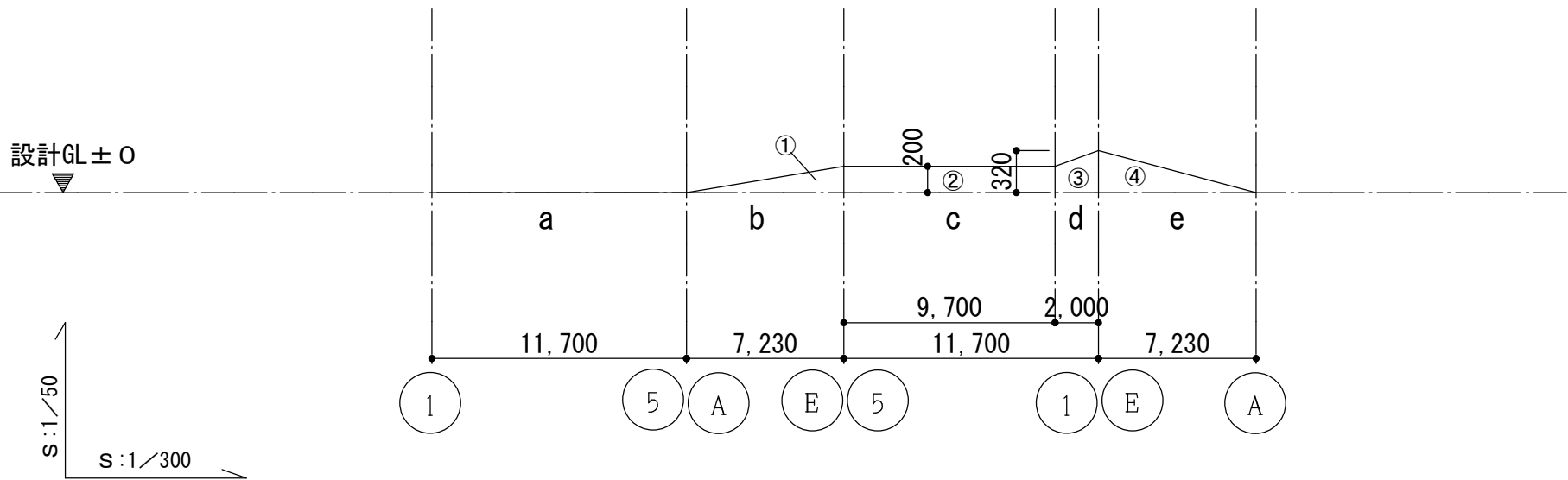




凡 例		記 号	仕 上 げ	記 号	仕 上 げ
記 号	仕 上 げ	E	軽量スチールシャッター 塗装品	J	市支給サイン 300*400*t3.0 アクリル製 1枚、 120*120*t8.0 アクリル製 1枚 ビス、接着剤併用固定
A	厚0.5 カラー折板屋根	F	アルミドア シルバー色	K	館名サイン（シャッター上部） 材質仕様：厚3アルミ複合板UVカットラミネートフィルム張 東御市B&G防災倉庫 400*400*t3*10文字 ビス、接着剤併用固定
B	厚0.5 カラー鋼板幕板	G	塩ビ製軒樋W150	L	受電用アングル材L50*50*4 L=1,200 SOP塗
C	厚0.35 カラー角波鋼板（750型）	H	塩ビ製縦樋 φ75VU		
D	スチール柱焼付塗装品	I	コンクリート打放し		
備 考			キ ビ ト 建 築 設 計 一級建築士事務所 知事（上田）E第9Z102号 一級建築士 第290408号 鈴木 敏之 長野県東御市八重原3533-1195 TEL/FAX0268-61-6751		工事名 東御市防災倉庫新築工事 図面名 立面図 DATE /08/2026
					縮尺 1:100 No. A-11



平均地盤算定図

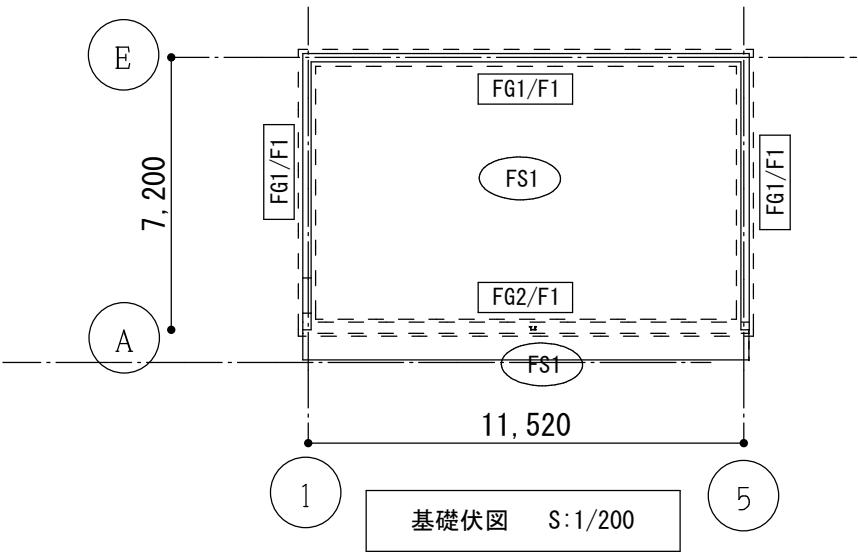


部 位	計 算	合 計
周 長	a+b+c+d+e	37.86 m
面 積	①+②+③+④	4.34
①	7.23*0.2*0.5	0.723
②	9.70*0.2	1.940
③	(0.2+0.32)*2.0*0.5	0.520
④	7.23*0.32*0.5	1.157

平均地盤面
4.34 / 37.86 = 0.114 ∴平均地盤面＝設計GL+114

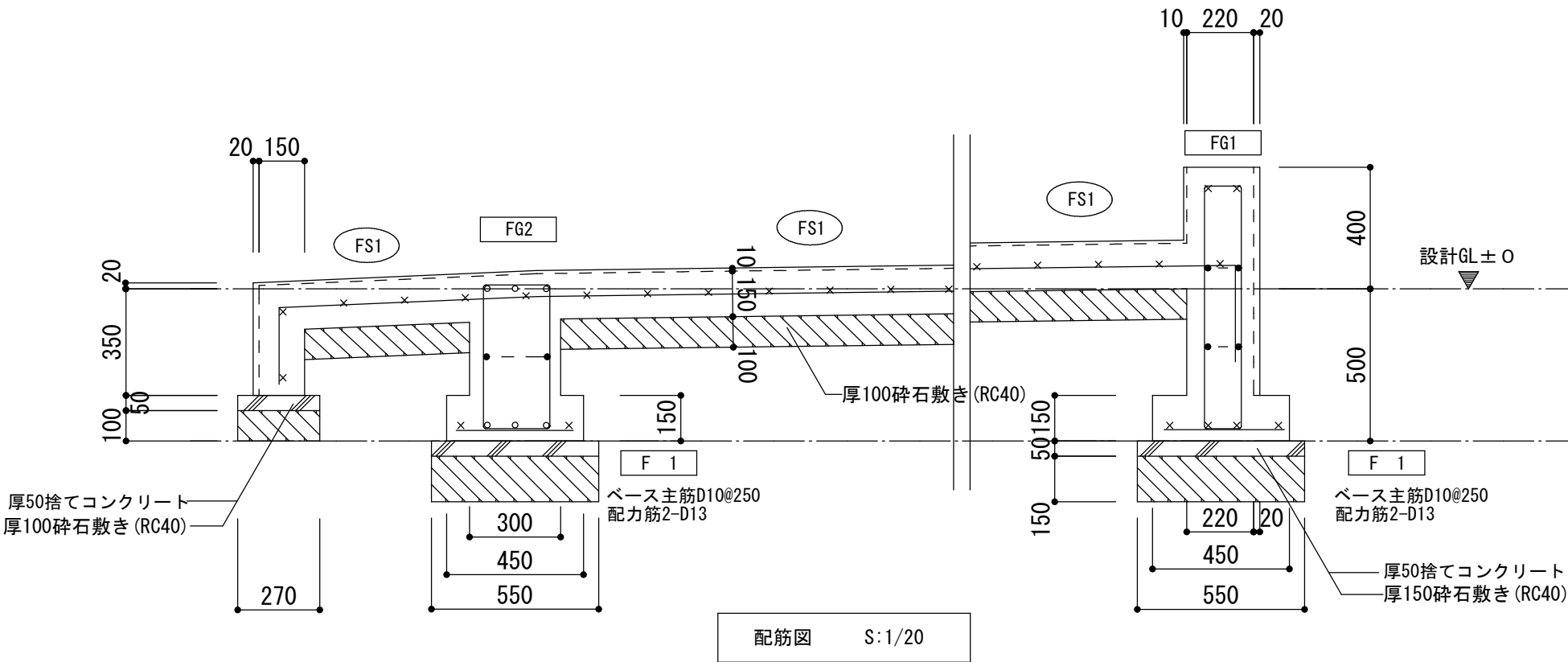
構造図

S:1/200 S:1/20



基礎梁断面表			
符 号	FG1	FG2	
上 筋	2-D13	3-D16	
下 筋	2-D13	3-D16	
腹 筋	4-D10	2-D10	
STP	D10 @250	D10 @200	
b × D	220 × 900	300 × 550	
幅止め	D10 @1000	D10 @1000	

スラブ断面表			
符 号	厚	主 筋	配力筋
FS1	150	ダブルD13@200	ダブルD13@200



※設計基準強度 $F_c = 24$
※地耐力長期 30 kN/m^2 : 砂質土 (一部粘土)

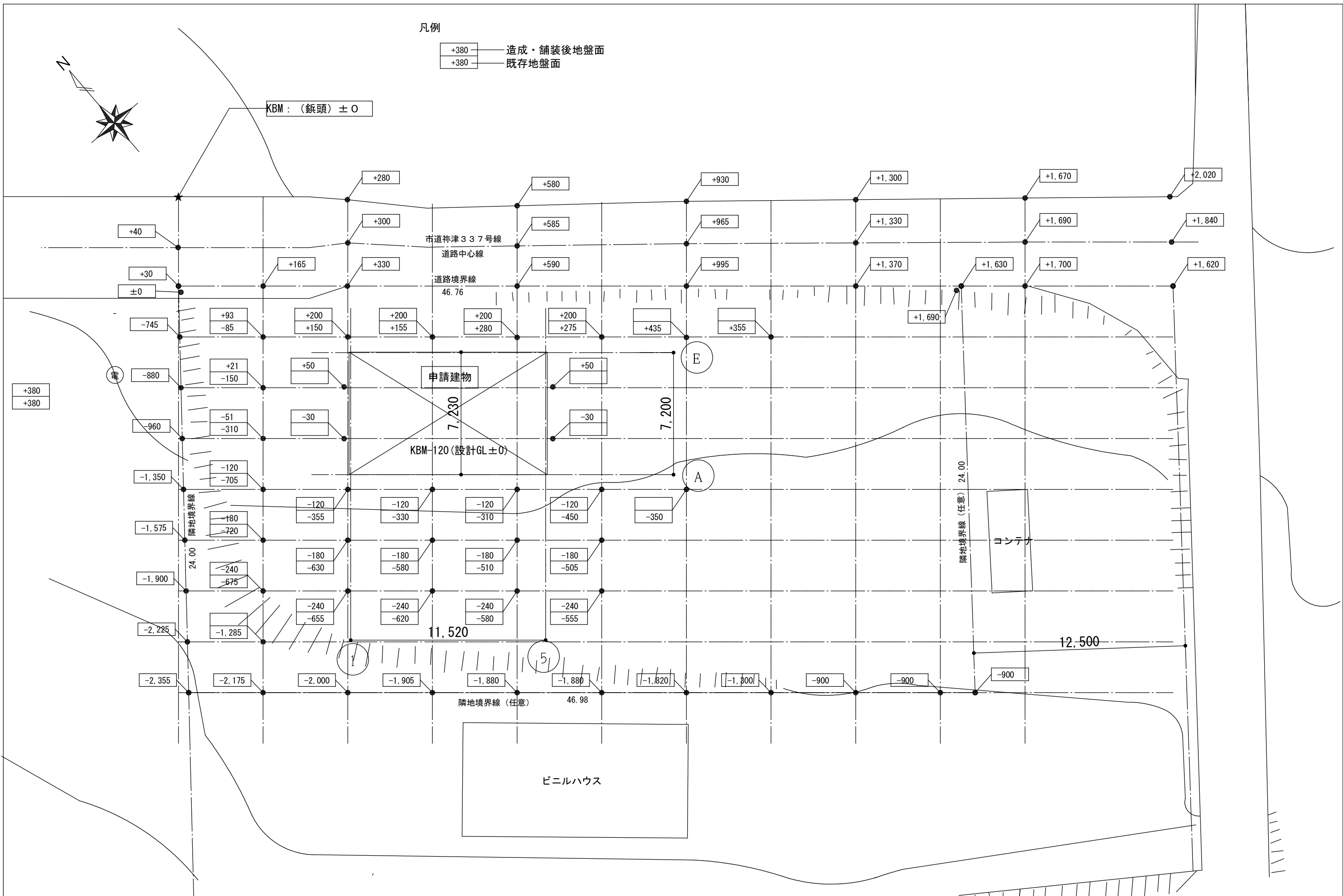
備 考

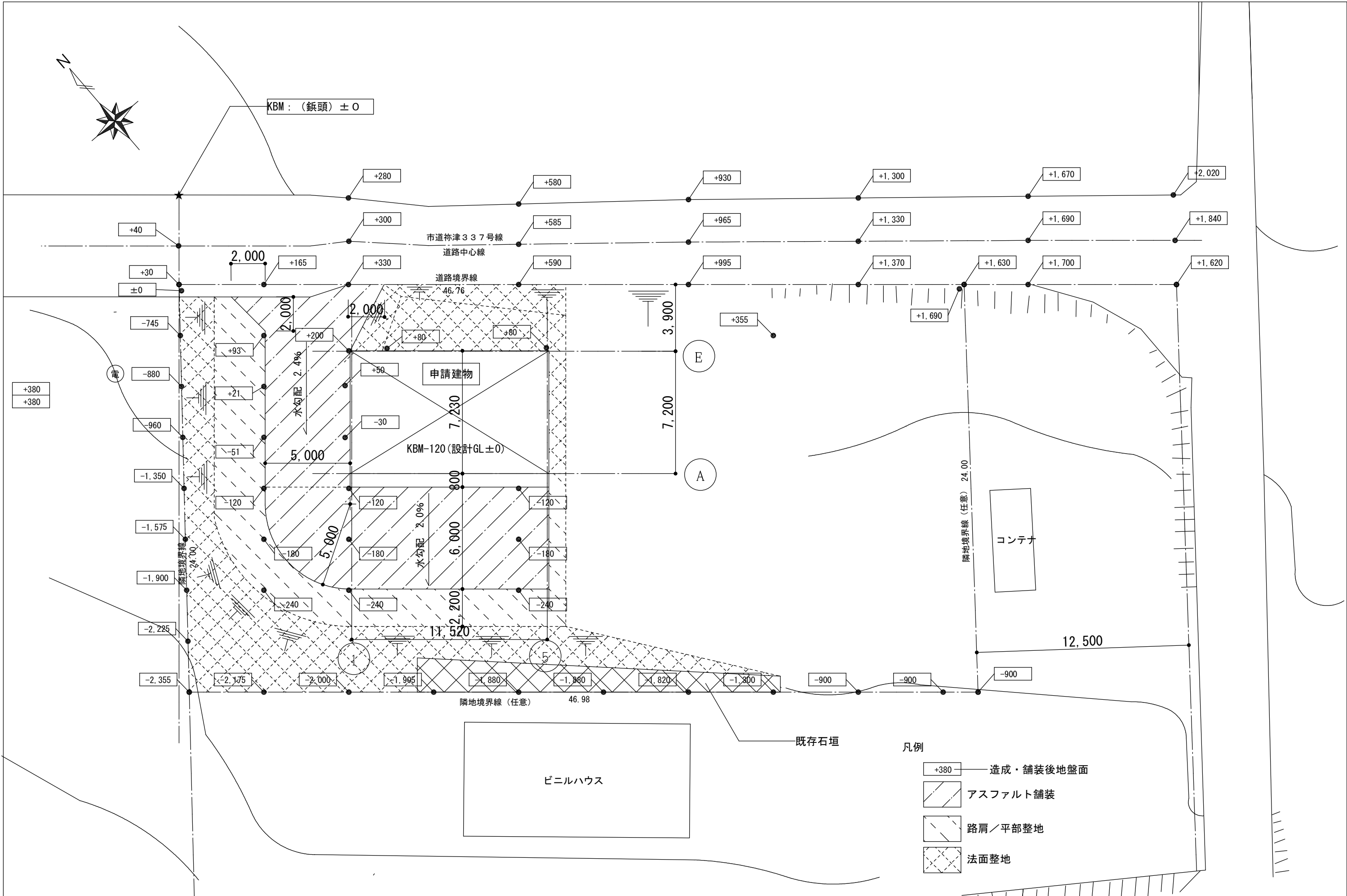


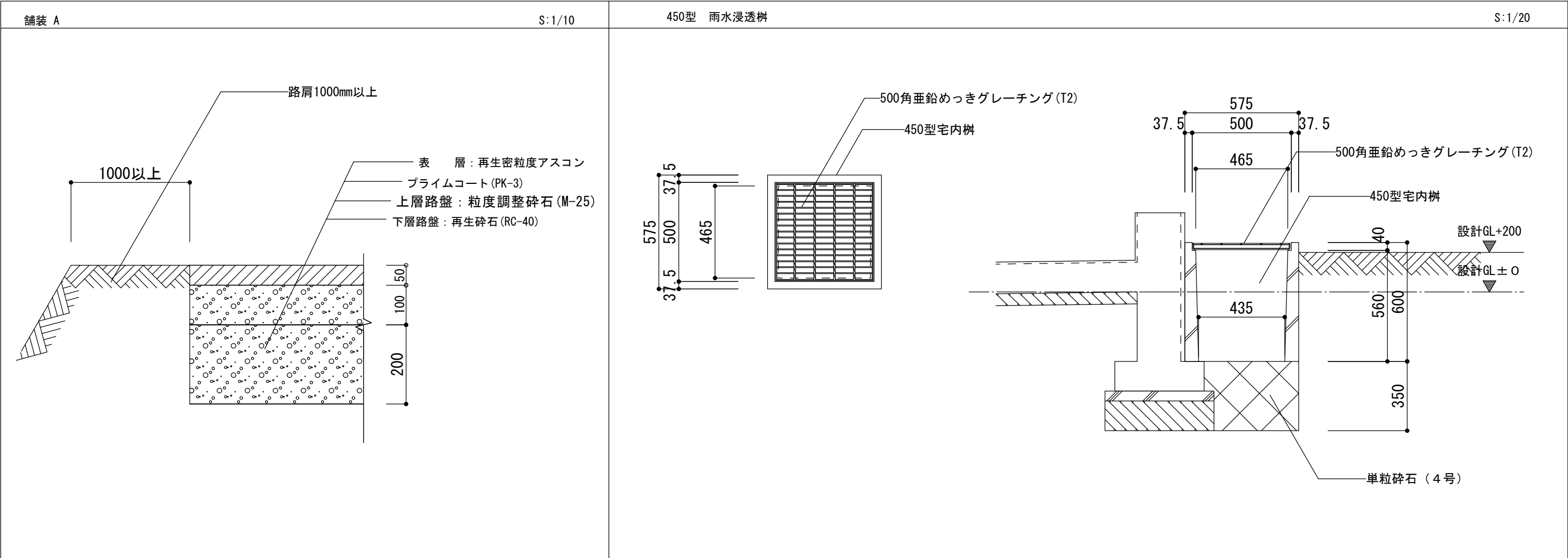
キ ビ ト 建 築 設 計
一級建築士事務所 知事(上田)E第9Z102号
一級建築士 第290408号 鈴木 敏之
長野県東御市八重原3533-1195 TEL/FAX0268-61-6751

工事名	東御市防災倉庫新築工事	
図面名	地盤算定図	DATE /08/2026

縮尺	No.
1:20 1:50 1:200 1:300	A - 13







I 工 事 概 要

1 工 事 場 所 長野県東御市鞍掛 1 2 2 0 番地

2 建 物 概 要

建 物 名 称	構 造	階 数	延 面 積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備 考
防災車両置き場 (車庫)	鉄骨造	地上 1 階	84.59		

3 工 事 種 目 (○印のついたものを適用する。)

工 事 種 目	項 目	建物別及び屋外			
		倉 庫			
電灯幹線設備	引込支時点～電灯盤	○			
電灯コンセント設備	電灯盤～各回路	○			
	照明器具	○			
	コンセント	○			

II 工 事 仕 様

1 共 通 仕 様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年度版）」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年度版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）・同解説
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2 特 記 仕 様

特記仕様は別紙「特記仕様書（共通事項）」によるほか次の各項目による。

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項										
1 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の手紙を受ける。										
2 機材の品質・性能証明	下表に示す材料・機材等（○印のもの）の製造者等は次の 1）から 6）のすべての事項を満たすものとし、この証明となる資料または外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督員の承諾を受ける。 <table><tr><th>材料・機材名</th><th>材料・機材名</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・その他、監督員の指示によるもの</td></tr><tr><td>・</td><td>・(社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材</td></tr></table> 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等が定める場合は、その許可・認可・認定または免許を取得していること。 5) 製造または施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。 ・公共建築工事積算基準の解説（設備工事編）の「執務並行改修」	材料・機材名	材料・機材名	・	・	・	・	・	・その他、監督員の指示によるもの	・	・(社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材
材料・機材名	材料・機材名										
・	・										
・	・										
・	・その他、監督員の指示によるもの										
・	・(社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材										
3 施工条件明示項目											
4 電気保安技術者	工事現場の電気工作物（電路、自動扉、自動シャッター、電動機等も含む）の保安業務を行うものとする。 (1) 実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2) 工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。										
⑤実施工程表及び施工計画書	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。										
⑥使用材料発注先調書											
7 発生材の処理	(1) 引渡しを要するもの ・無 ○有 () (2) 引渡しを要するもの以外 ○構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。 (3) 特別管理産業廃棄物 ・無 ○有 (PCB使用機器：関連法令により適切に処理し建物管理者に引き渡す。) (4) 再利用又は再資源化を図るもの ・無 ○有 (・廃蛍光管 ・コンクリート・木材・アスファルト○金属くず○ダンボール類) ○設けない ・設ける (規模：) ・備品 () すべて請負者の負担とする。 構内に作ることが ○できる ・できない										
⑧ 監督員事務所											
⑨ 工事用仮設物											

⑩ 工事用電力・水・その他

⑪ 工事写真

⑫ しゅん工時提出物
13 再使用機器

14 あと施工アンカー

15 防火区画等の貫通処理
⑬ 電線・ケーブル

⑰ 予備配管

⑱ 呼び線
⑲ 金属製電線管の塗装

20 埋め戻し土

21 建設発生土の処理
22 ケーブル埋設票

⑳ ブルボックス

㉑ フラッシュプレート
㉒ プレートの用途表示

㉓ 配線器具

㉔ 機器への接続
㉕ 照度測定

㉖ 盤類

30 執務並行改修工事

31 停電作業仮設配線

㉚ 提出物

㉛ その他

本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。

工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。
カラーサービス版で、A 4 版の工事アルバムに工程順に査閲名を記入し提出する。

標準仕様書及び別表による。

取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。

ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。

- (1) 重要機器類は公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）8 章の 2 節 8. 2. 4 及び 1 0 節による。
(2) 上記以外の機器類は建築工事改修仕様書 6 章による。
(引抜き試験を ・ 実施する ・ 実施しない)

電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通個所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。

- (1) EM-EEF は紫外線による劣化を抑止する性能を持たせ、「タイシカ`イセン EM-EEF」と表記されたものを使用する。
(2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースに JIS 規格による EM ケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。

埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器 4 個以下の場合には（25）を 1 本 5 個以上の場合には（25）を 2 本、天井まで立上げる。

長さ 1m 以上の入線しない電線管には、1. 2mm 以上のビニル被覆鉄線を挿入する。

下記の露出配管は塗装を行う。

- ・屋 外 ・屋 内 (渡り廊下 機械室)
・A 種 [山砂の類：水締め、機器による締固め] ○B 種 [根切り土の中の良質土：機器による締固め]
・C 種 [他現場の建設発生土の中の良質土：機器による締固め]
・D 種 [再生コンクリート砂：水締め、機器による締固め]

- ・管の下部は 5 0mm 以上砂を敷きならし、管の上部 1 0 0mm 以上砂を用いて締め固める
・場外搬出処理 ・構内の指定場所に敷き均し

- (1) 地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ・鉄製 ・コンクリート製
(2) 低圧地中配線にあっても地中線埋設標識シートを敷設する。
(3) 配管埋設幅が 7 5 0mm を超える場合は、地中線埋設標識シートは 2 条以上敷設する。

- (1) 露出するブルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。
(2) 露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。
・樹脂製 ○鋼製 (塗装) ○SUS 製 WP

図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製
ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略標をつける。

タンブラスイッチは連用形とする。

壁付けコンセント（2 P 1 5 A）は原則として連用形とする。ただし、2 口の場合は複式を・使用して良い。また（2 P 1 5 A）以外はすべてキャップ付とする。
本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。

- 測定場所： ・ 倉庫全般
用 途： ・ 一般照明
・ 学校施設における室内照度測定（測定教室： 個所、 測定黒板面： 個所）
※教室の照度は、1 教室当たり机上面 9 か所、黒板垂直面 9 か所で測定する

- (1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。
(2) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。

執務並行改修の場合は、施工業者が執務者に配慮等しながら施工をおこなう事を前提として工事をおこなう。

受電設備改修の停電作業時には下記の機器仮設配線、仮設発電機を見込む

- ・ 冷蔵庫等の機器
・ 事務機器
・ 防災、防犯機器

提出書類は、建築工事に準ずる

下記項目は監督員と協議の上決定する。

- 引込柱・積算電力量計の位置について
○ 電力会社契約容量確認
○ 露出配管、照明器具取付方法、接地工事（施工計画書提出）
○ 軒下照明の人感センサー点滅は入れっぱなしで良いか。

3 接地極 撤去

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

・	A 種接地	銅板 1. 5 t × 9 0 0 × 9 0 0 リード端子付 堀削埋戻中心深さ	補助接地棒（連結式 1 4 φ × 1. 5 0 0） 2 m 埋設標（黄銅製又はステンレス製）
・	B 種接地	銅板 1. 5 t × 6 0 0 × 6 0 0 リード端子付 堀削埋戻中心深さ	補助接地棒（連結式 1 0 φ × 1. 5 0 0） 2 m 埋設標（黄銅製又はステンレス製）
・	C 種接地	銅板 1. 5 t × 9 0 0 × 9 0 0 リード端子付 堀削埋戻中心深さ 1. 5 m	補助接地棒（連結式 1 4 φ × 1. 5 0 0） 埋設標（黄銅製又はステンレス製）
○	D 種接地	接地棒（1 4 φ × 1. 5 0 0）	リード端子付 打ち込み式 埋設標（黄銅製又はステンレス製）

4 ハンドホール

- 下表による。（梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを 1 組納入する。）
ブロックハンドホール（寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。）
・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
・ブロックの仕様は国土交通省仕様基準のものとする。
・ハンドホールにノックアウト部分を設けてはならない。
・配管貫通部は、原則として根巻きコンクリート（F=18N/mm 以上）とし、差し筋 D10 タテヨコ@200 で補強する。
・補強方法については、あらかじめ監督員にハント`ホール製作図を提出して承諾を受けて施工する。

・	ハンドホール No. -	1、500×1、500×1、500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、740 以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. -	1、200×1、200×1、500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、700 以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. -	1、000×1、000×1、400D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、600 以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. -	1、000×1、000×1、100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、300 以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. -	1、000×1、000× 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、060 以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. -	900×900×1、100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、260 以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. -	900×900×900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、060 以上 (既製足場付)
・	ハンドホール No. -	600×600×680D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(既製足場付)
・	ハンドホール No. -	450×450×680D 蓋 WPM-45B (Eマーク入)	※植栽帯等車両の通行の恐れがない場所、 収容ケーブルが少ない場所に限る

5 提 出 書 類

その他提出物は建築工事と同様とする。

備 考



キビト建築設計

一級建築士事務所 知事（上田）E 第 9 Z 1 0 2 号
一級建築士 第 2 9 0 4 0 8 号 鈴木 敏之
長野県東御市八重原 3 5 3 3 - 1 1 9 5 TEL/FAX 0 2 6 8 - 6 1 - 6 7 5 1

工事名

東御市防災倉庫新築工事

図面名

電気特記仕様書

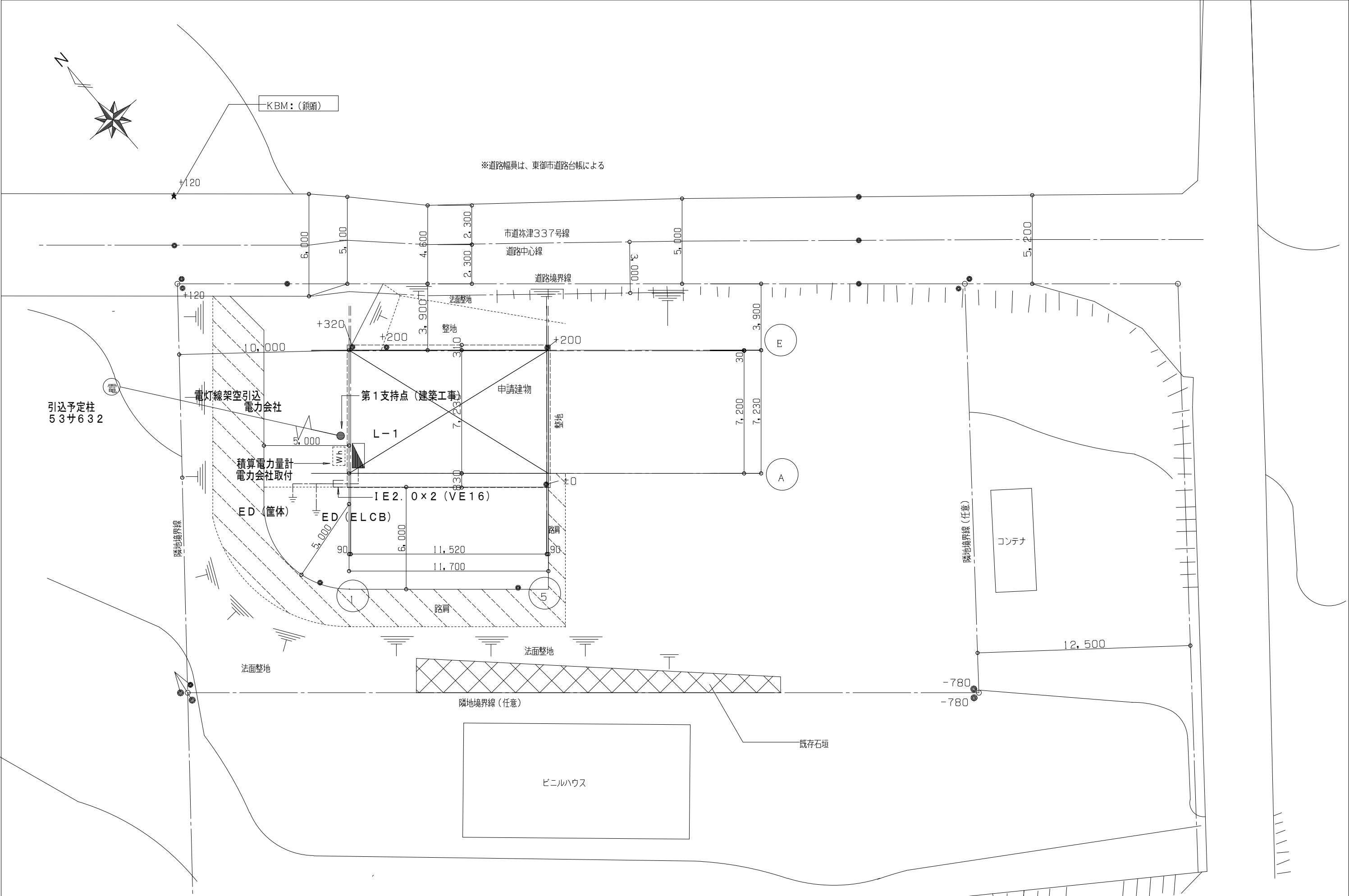
DATE
/08/2026

縮尺

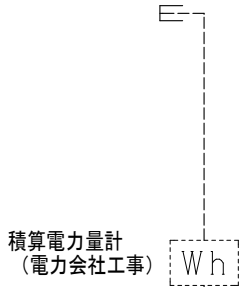
--

No.

E - O 1



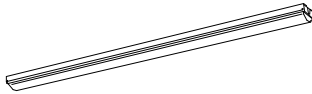
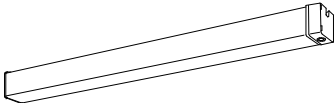
備 考	 キビト建築設計 一級建築士事務所 知事（上田）E第9Z102号 一級建築士 第290408号 鈴木 敏之 長野県東御市八重原3533-1195 TEL/FAX0268-61-6751	工事名 東御市防災倉庫新築工事	縮尺	No.
			1:200	E-02
		図面名 配置図	DATE /08/2026	



電灯盤結線図

盤 名 称 盤 形 状	幹 線 番 号 幹線サイズ 容量 (VA)	結 線 図	回 路 号	分 岐 回 路 号	負荷容量 (VA)	負 荷 名 称	
電灯盤 L-1 1φ3W200V /100V EM-CE 5.5sq-3C	保護等級：IP- 取付形式：壁掛形 電力会社契約用 ブレーカー [SB]	2× 塗装：メーカー標準 接地端子：ED（幹線配管）、ED（ELB負荷） ELCB 3P 30/ 30AT 100V 100V 100V 100V 100V 100V (0.53kVA) E2.0×2 (筐体、ELB用)				参考品番：河村電器産業株式会社 ZSG3P30TL-30	
			①	MCCB2P 30/20	54	照明	27.0×4台 14.9×1台
			②	MCCB2P 30/20	172	照明	43.1×14台
			③	MCCB2P 30/-	-	予備スペース	
			①	MCCB2P 30/20	300	コンセント	
			②	MCCB2P 30/-	-		
			③	MCCB2P 30/-	-		

照明器具参考姿図

A	LED 直付型 40形	B	LED ウォールライト 40形 WP	C	LEDウォールライト 20形 WP
 一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100~242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック 直付XF460NENLE9 相当品		 LED内蔵、電源ユニット内蔵 防雨型、ひと（熱線）センサ・EEセンサ付（ON/OFF型） 5000K、Ra83、光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 器具光束2980lm、消費電力27W、電圧100~242V 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 天井直付型、保護等級：IP23 パナソニック NNFS41810CLE9 相当品		 H f 16形×1灯器具相当 防雨型、ひと（熱線）センサ・EEセンサ付（ON/OFF型） 器具光束1470lm、消費電力14.9W、電圧100~242V 5000K、Ra83、光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 壁直付型 パナソニック NNFS21812CLE9 相当品	

